

## 第2WG 評価コメント

### 評価者のコメント

#### 事業番号2-40 国連・障害者の十年記念施設運営委託費

- 財団は施設管理を委託する団体としてふさわしくないのではないか。適切な団体・法人等に競争により委託すべき。
- 再委託をやめ直接委託に切り替え 4,000 万円削減。ホールの稼働率も上げること。
- 根本的に可能性調査を入れ、目標設定をし直すべき。
- 委託のコストが高すぎる。是正すべき。利用料見直し。
- 補助事業の見直しが必要。独自収益事業を考えるべき。事業費の2～3 割くらいは削減可能ではないか。
- 利用料が高く障害者、一般ともに使用者が増えていない。これも見直すべき。
- ここでもまた箱モノ事業が行われている。施設費(光熱費、保守業務等)も割高だが、わずか年10%程度のホールを利用した自主企画イベントしか行っていないのに、1 億 1 千万円かけている。例として上がった障害者アート展に(ホール代はかからないので)800 万円/回かけているというのも、企画運營業者に丸投げしているからではないか。それでは財団スタッフの専門性や業務の意味合いは何なのか問われてしまうだろう。
- 同施設は売却を含め抜本的に見直し。むしろ民間及び公設既存設備のバリアフリー化を推進すべき。

### WGの評価結果

#### 国連・障害者の十年記念施設運営委託費

### 見直しを行う

(廃止 1名 自治体/民間 0名 見直しを行わない 0名)

見直しを行う 7名:

ア. 財団への委託をやめ民間へ直接委託 6名

イ. 施設運営の効率化 5名

ウ. その他 1名)

## とりまとめコメント

---

折角、すばらしい理念の下で作った施設なので、有効に利用していただきたい。財団への委託をやめ、民間への直接委託とすること及び運営の更なる効率化をめざしていただきたい。